

令和6年度 第41回 公益財団法人 日本中学校体育連盟研究大会

石川大会



令和6年11月21日(木)・22日(金)

ホテル金沢

主催／(公財)日本中学校体育連盟・北信越中学校体育連盟・石川県教育委員会・金沢市教育委員会
主管／石川県中学校体育連盟
後援／スポーツ庁・全日本中学校長会・石川県小中学校長会中学校長会・金沢市中学校長会
(公財)日本教育公務員弘済会石川支部

挨拶



(公財)日本中学校体育連盟

会長 青海 正

丸谷焼、加賀友禅などの伝統工芸や、加賀宝生・狂言といった伝統芸能、加賀とびはしご登り、加賀獅子舞の伝統行事など、古くからの「伝統文化」が息づく石川県金沢市において、令和6年度第41回公益財団法人日本中学校体育連盟研究大会石川大会が開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

また、本大会を共催していただきました石川県教育委員会、金沢市教育委員会、北信越中学校体育連盟、そして御後援を賜りましたスポーツ庁、全日本中学校長会、石川県小中学校長会中学校長会、金沢市中学校長会、公益財団法人日本教育公務員弘済会石川支部の皆様にご礼申し上げますとともに、主管されます石川県中学校体育連盟の皆様の御尽力に心より感謝申し上げます。

挨拶の冒頭ですが、元日の令和6年能登半島地震により、本県に甚大な影響をもたらしました。この地震でお亡くなりになられた方々に心から哀悼の意を表します。また、被災されました方々にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を祈念いたします。

さて、現行の学習指導要領において、「部活動」は、生徒の多様な学びの場として教育的意義が大きいことから、学校の教育活動の一環であるとされています。しかしながら、少子化により、従前と同様の運営体制では、これまで通りに維持することが難しくなり、休日の活動も含めて教師の献身的な努力によって支えられていることから、長時間勤務の要因になっているという実態があります。そのため、「部活動」については「将来にわたっての持続可能性」と「学校の働き方改革の加速化」との両面から課題解決を図ることが喫緊の課題です。令和4年6月6日にスポーツ庁長官に手交された「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」は、少子化の中、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツに継続して親しむことができる機会の確保に向けて、まずは、休日の運動部活動の地域移行を実現していこうとするものです。また、情報化の急速な進展により、社会が大きく変化する中で、AIなどの技術革新が進む Society5.0 という新たな時代に対応するため、学校教育も変革が求められています。

このように、現代は、国の動向や学習指導要領の趣旨を踏まえ、「知・徳・体のバランスのとれた生徒」及び「生涯にわたってスポーツに親しむことができる生徒」の育成とともに、「運動部活動改革」を実行していかなければなりません。これらの課題解決に向け、都道府県中学校体育連盟の皆様の御支援と御協力が不可欠です。改めてお力添えをお願い申し上げます。

結びに、本研究大会の開催に向けて御準備いただきました石川県中学校体育連盟の皆様に敬意を表するとともに、本研究大会の成功と全国から参加されております会員の皆様の益々の御活躍を祈念し、大会の挨拶といたします。

令和6年度 第41回（公財）日本中学校体育連盟研究大会石川大会要項

- 1 趣 旨 (公財) 日本中学校体育連盟（以下、本連盟という）は、本連盟に加盟する中学校の体育・運動部活動指導者が一堂に会し、当面する諸課題及びこれからのよりよい体育・運動部活動の目指す方向等について、日頃の実践的な研究成果を発表し、研究協議と情報交換をする機会とすることにより、生涯スポーツの充実・発展を資するために、（公財）日本中学校体育連盟研究大会を開催する。
- 2 主 催 (公財) 日本中学校体育連盟 北信越中学校体育連盟
石川県教育委員会 金沢市教育委員会
- 3 主 管 石川県中学校体育連盟
- 4 後 援 スポーツ庁 全日本中学校長会 石川県小中学校長会中学校長会
金沢市中学校長会 (公財) 日本教育公務員弘済会石川支部
- 5 日 時 令和6年11月21日（木） 12：45～17：00 【第1日目】
11月22日（金） 9：00～11：30 【第2日目】
- 6 会 場 ホテル金沢
〒920-0849 石川県金沢市堀川新町1番1号 Tel：076-223-1111
- 7 参加対象 (公財) 日本中学校体育連盟に加盟している都道府県中体連から8名以内とする。
但し、特別賛助会員は、各社各分科会に2名以内の参加を認める。
- 8 研究主題とその内容
 - (1) 研究主題 「豊かなスポーツライフの実現に向けて
～持続可能な運動部活動の在り方と中体連の役割～」
 - (2) 内 容
 - ① 全体会
 - A 講 演
演 題：「No！スポハラ ～子どもたちの主体性を伸ばすグッドコーチング～」
講 師：大阪体育大学 大学院スポーツ科学研究科 教授 土屋 裕睦 氏
 - B 全体協議
協議題：「今後の運動部活動について」
 - ・テーマに沿って、ワークショップ形式で行う。
 - ・参加者間での自己紹介や新しい指導者像について協議していただく。
 - ・講演に引き続き、講師の土屋氏にご助言をいただく。
 - ② 分科会
次のテーマごとに分科会を設け、パネルディスカッション形式により研究発表及び研究協議を行う。研究発表が割り当たっている当該中体連の発表者はパネリストとなる。
 - 第1分科会 (中体連の組織・運営)
「中体連の組織及び競技会の在り方とその運営」
 - ・望ましい中体連組織の運営及び諸課題への対応
 - ・望ましい競技会及び諸課題への対応
 - ・地域クラブ活動の競技会参加への対応
 - 第2分科会 (育成・健康安全)
「豊かな心と健やかな体を育む運動部活動」
 - ・生徒の主体的・協働的な力を育む運動部活動の運営
 - ・意欲を喚起させる運動部活動経営
 - ・競技力向上や健康体力の保持増進を目指した運動部活動
 - ・運動部活動における健康安全管理
 - ・生涯にわたって主体的に運動・スポーツに親しむ生徒の育成

第3分科会（連携）

「連携でつくる運動部活動」

- ・学校教育活動との関連・連携による運動部活動の活性化
- ・地域単位で支える運動部活動経営の在り方
- ・部活動指導員及び外部指導者の活用と連携
- ・運動部活動の地域移行における関係諸機関及びスポーツ団体との連携・協力の在り方

第4分科会（課題対応）

「当面する運動部活動の諸問題」

- ・生徒減少期における運動部活動の在り方
- ・指導者の資質向上
- ・持続可能な学校運動部活動の運営
- ・拠点校部活動（合同チーム）における活動の実際

9 日 程

第一日目	10:00	12:00	12:45	13:25	14:45	15:00	16:50	17:00
	司会者・発表者 助言者・記録者 運営責任者 打合会 (機器調整を含む)	受付	開会行事	講演	休憩	全体協議	次年度挨拶	

第二日目	8:45	9:00	11:20	11:30
	受付	分科会 研究発表及び協議 (パネルディスカッション)	閉会行事 分科会別	

10 発表者及び提出資料

(1) 研究発表担当都道府県及び順序（発表時間15分程度）

形 式	第1分科会	第2分科会	第3分科会	第4分科会
研究発表 (パネリスト)	東 海・静 岡 東 北・山 形	北 海 道 中 国・鳥 取	四 国・高 知 九 州・大 分	関 東・栃 木 近 畿・滋 賀
紙 上 発 表	北信越・長 野	北信越・新 潟	北信越・富 山	北信越・福 井
指導助言者	(公財) 日本中学校体育連盟			
	北信越・長 野	北信越・新 潟	北信越・富 山	北信越・福 井
司 会 者	北信越・長 野	北信越・新 潟	北信越・富 山	北信越・福 井
運営責任者	実行委員会（石川県中学校体育連盟）			
記 録 者	実行委員会（石川県中学校体育連盟）			

(2) 提出資料の種類

- ① 研究発表担当都道府県中体連からの提出資料
 - ・分科会の研究主題に基づいた実践研究の成果
- ② その他
 - ・都道府県または学校の優秀な資料

(3) 提出資料の取り扱い

上記①・②の各資料を研究紀要としてまとめ、各都道府県中体連・司会者・助言者等には事前に送付する。

(4) 提出資料の作成要領

① 研究発表担当都道府県中体連からの提出資料

資料は、分科会ごとの研究テーマに沿って各都道府県中体連で特に解決を迫られている課題、かつ将来的にかかるべきとする提言等について、具体的な案をまとめて作成する。分科会のサブテーマとして挙げられているものの中から選ぶか、それに関連するテーマを独自に取り上げてもよい。

② その他

・提出原稿

○ワープロソフト「Word」「一太郎」を使用する。

○ワープロ規格A4判（横40字×縦36行）により、4枚にまとめる。

○発表で使用するプレゼンテーションソフトは「パワーポイント」を使用する。

（原稿・資料のデジタルデータを送付する）

・研究物、資料があれば別途提出する。

・提出原稿の図表等は明瞭なものにする。

・大会終了後、研究紀要等を（公財）日本中学校体育連盟のホームページに掲載する。

(5) 提出方法

① 発表者の報告 令和6年4月25日（木）

② 原稿提出期日 令和6年8月29日（木）

③ 提出先 〒920-0804 石川県金沢市鳴和2丁目10-60
金沢市立鳴和中学校内
石川県中学校体育連盟事務局
Tel 076-253-0646 Fax 076-253-0044
E-mail ta-ito@kanazawa-city.ed.jp

11 参加申込及び参加費

(1) 申込方法

名鉄観光サービス株式会社 申込フォームよりweb申込を行う。

（石川県中学校体育連盟のHPよりリンクあり）

(2) 申込締切日 令和6年8月30日（金）

(3) 申込先 別紙宿泊要項による

(4) 参加費 一人 6,000円

12 その他

(1) （公財）日本中学校体育連盟研究部会の開催

日時 令和6年11月20日（水） 14:00～16:00

11月21日（木） 9:00～10:00（予備）

会場 ホテル金沢

〒920-0849 石川県金沢市堀川新町1番1号 Tel: 076-223-1111

(2) 宿泊については別紙宿泊要項による。

(3) 医療、救護については、別紙に記載。

令和6年度 第41回(公財)日本中学校体育連盟研究大会 石川大会日程

一 日 目	10:00	12:00	12:45	13:25	13:25	14:45	15:00	16:50	17:00
	司会者・発表者 助言者・記録者 運営責任者 打ち合わせ会	受 付	開 会 行 事	講 演 準 備	講 演	休 憩	全 体 協 議	次 年 度 挨 拶	
二 日 目	8:45	9:00			11:20	11:30			
	受 付	分科会 研究発表及び協議 (パネルディスカッション)			分科会別 閉会行事				

【1日目 11月21日(木)】

会 場 : ホテル金沢

1 開会行事 12:45～13:25 2階 ダイヤモンドABC

- | | | |
|----------------------|-----------------|-------|
| (1)開会のことば | 石川県中学校体育連盟副会長 | 上森 範人 |
| (2)国歌、(公財)日本中学校体育連盟歌 | 斉唱 | |
| (3)主催者あいさつ | (公財)日本中学校体育連盟会長 | 青海 正 |
| | 石川県教育委員会教育長 | 北野 喜樹 |
| (4)祝辞 | スポーツ庁地域スポーツ課長 | 大川 晃平 |
| (5)歓迎のことば | 金沢市教育委員会教育長 | 野口 弘 |
| (6)来賓紹介 | 金沢市中学校体育連盟会長 | 町出 達朗 |
| (7)基調報告 | 石川県中学校体育連盟会長 | 大茂 勝 |
| ※ 日程説明 | 石川県中学校体育連盟理事長 | 白井 達也 |

2 講演 13:25～14:45 2階 ダイヤモンドABC

- | | | |
|------|------------------------------------|------------|
| 講師紹介 | 石川県中学校体育連盟 | 瀧下 実 |
| 演 題 | 『NO! スポハラ ～子どもたちの主体性を伸ばすグッドコーチング～』 | |
| 講 師 | 大阪体育大学 大学院スポーツ科学研究科 | 教授 土屋 裕睦 氏 |

3 全体協議 15:00～16:50 2階 ダイヤモンドABC

『今後の運動部活動について』

- | | | |
|-----|---------------------|------------|
| 助言者 | 大阪体育大学 大学院スポーツ科学研究科 | 教授 土屋 裕睦 氏 |
| 謝 辞 | 石川県中学校体育連盟副会長 | 上森 範人 |

次期開催地あいさつ 愛知県中小学校体育連盟会長 山田 善申

【2日目 11月22日（金）】

会 場：ホテル金沢

4 分科会 9：00～11：20

第1分科会（2階 ダイヤモンドB）

『中体連の組織及び競技会の在り方とその運営』

パネリスト	静岡県中学校体育連盟	調査研究委員	須永 侑樹
	山形県中学校体育連盟	地区理事	熱海 俊和
		前地区理事	高橋 栄介
紙上発表	長野県中学校体育連盟	研究部委員長	赤羽 徹郎
助言者	(公財)日本中学校体育連盟	副会長	金子 哲朗
	長野県中学校体育連盟	会長	小笠原重光
司会者	長野県中学校体育連盟	副会長	畠山 正幸
運営責任者	石川大会実行委員会	副会長	山下 悟

第2分科会（2階 ダイヤモンドC）

『豊かな心と健やかな体を育む運動部活動』

パネリスト	北海道中学校体育連盟	調査研究専門委員	中村 拓人
		調査研究専門委員	山形 大介
	鳥取県中学校体育連盟	研究部員	上杉 謙太
		研究部員	上坂 誠
紙上発表	新潟県中学校体育連盟	研修部長	渡邊 讓
助言者	(公財)日本中学校体育連盟	副会長	五十嵐守男
	新潟県中学校体育連盟	副会長	金山 光宏
司会者	新潟県中学校体育連盟	副会長	伊藤 法生
運営責任者	石川大会実行委員会	副会長	宮下 裕樹

第3分科会（4階 エメラルドA）

『連携でつくる運動部活動』

パネリスト	高知県中学校体育連盟	理事長	池田 雄幸
	大分県中学校体育連盟	研究部員	嶋川 広好
紙上発表	富山県中学校体育連盟	研究部委員長	廣瀬 翔平
助言者	(公財)日本中学校体育連盟	副会長	野口 修司
	富山県中学校体育連盟	会長	櫻打 佳浩
司会者	富山県中学校体育連盟	副会長	鍋田 敬一
運営責任者	石川大会実行委員会	副会長	中田 知邦

第4分科会（4階 エメラルドB）

『当面する運動部活動の諸問題』

パネリスト	栃木県中学校体育連盟	副理事長	鈴木 智喜
	滋賀県中学校体育連盟	参与	佐野 将
紙上発表	福井県中学校体育連盟	理事長	江端 達也
助言者	(公財)日本中学校体育連盟	副会長	田中 節
	福井県中学校体育連盟	会長	安本 桂樹
司会者	福井県中学校体育連盟	副会長	竹野 亨
運営責任者	石川大会実行委員会	副会長	西川 司

5 閉会行事 11：20～11：30 各分科会場

(1) 開催あいさつ 石川大会実行委員会代表

(2) 閉会のことば

基 調 報 告

第41回（公財）日本中学校体育連盟研究大会
石川大会実行委員会 会長

大 茂 勝

長年にわたり、学校教育の一環として位置付けられてきた学校部活動ですが、部活動の地域移行や地域クラブ活動の参加による大会運営、少子化による生徒数・活動人数の減少、教職員の働き方改革に関連した動き等の影響を受け、従前の活動を行ったり、学校単位での改革を行ったりすることは困難になってきている状況です。

このような課題を解決するべく、（公財）日本中学校体育連盟は、全国中学校体育大会の在り方を見直し、令和6年6月に持続可能な全国中学校体育大会の運営に向けての方向性を示しました。今後、生徒の大切な成長の場となっている部活動を支え、適切な大会運営の在り方等を各都道府県で慎重に議論を重ね、生徒にとって望ましい部活動の環境を整えていくことがより一層大切になると考えます。

本連盟は来年70周年を迎えます。これまでの大会や部活動を通して、全国の多くの中学生たちの心身の健全な発達に携わってまいりました。研究大会も第41回を迎え、今年で4年目となる研究主題の「豊かなスポーツライフの実現に向けて」に基づき、日頃の実践的な研究成果の発表や、研究協議・情報交換を行うことで、専門的知見を高め、各都道府県で交流を深めることで、先に述べた課題に対し、全国一丸となった取り組みが実践できる研究大会にしたいと考えております。そのため、石川大会では、参加者がより多くの意見を交わし合えるワークショップ形式も取り入れました。

また、1日目の講演と全体協議を受けて、2日目の分科会では各都道府県の取組や実践事例を交換し、より深く議論を重ね、今後の運動部活動の在り方について中学校体育連盟に加盟する皆様との充実した研究協議の場にしたいと考えております。

結びに、本研究大会が、全国からご参加いただく皆様のお力添えのもと、（公財）日本中学校体育連盟の発展はもとより、運動部活動に携わる全国各地の皆様の躍進につながることを祈念いたしまして、基調報告とさせていただきます。